

科 目 名
<b>基礎デッサンⅠ・Ⅱ</b> <b>Basic drawingⅠ・Ⅱ</b>

1年 前・後期 2単位 選択  
(デザイン学科)

古 澤 伸一郎

## 概 要

スポーツや楽器の演奏などと同じように、デッサンも「デッサンすること」を繰り返さなければうまくはなりません。考え、手を動かして制作し、制作したものを冷静に見直すということの繰り返しが重要です。

空間の基本要素である点、線、面、またはその連続により生じる形態の持つ動勢、機能について考え、その視覚表現の方法の可能性を描写やコラージュ及び立体造形の両面から、理解し、体感していただければと思います。

## 目 標

デッサンの基礎訓練と観察力・空間把握及び感性の表現

## 授業計画

テ ー マ	内 容
1 静物デッサン	リンゴ・かぼちゃ・ピーマン等のデッサンを通して観察力・存在感・空間把握の習得。(鉛筆)
2 立体造形 1	〈観察と表現〉 ・形態の特徴把握 ・曲面の瑞々しい張り 〈造形の要素〉 ・動勢・比例・均衡 ・部分と全体のバランス ・量感の把握 以上を通して立体造形物としての存在感の勉強。(フォルモ粘土)
3 立体造形 2	・形態の特徴把握 ・曲面の瑞々しい張り 〈造形の要素〉 ・動勢・比例・均衡 ・部分と全体のバランス ・量感の把握 以上を通して立体造形物としての存在感の勉強。(ケント紙・発泡スチロール・糸・竹ヒゴ等)
4 立体物のデッサン	完成した立体造形物のデッサン(鉛筆) 空間における線・面・量の正しい把握と伝達能力、比例、調子、奥行き、方向性、明確さの追求。
5 写真模写	新聞や雑誌にある図像を模写する事で構成の基本と着色の勉強。
6 細密デッサン	静物細密素描 単色(鉛筆)
7 静物デッサン	観察力・描き込みの強化。 「靴」構図の把握・質感の表現。

## 評価方法

テーマ作品の提出と出席

## 教 材

プリント配布

B3パネル・デッサン用具一式(スケッチブックF6サイズ、クロッキー帖F6サイズ、鉛筆(5H～6B)、ネリゴムなど)

アクリルガッシュ・ポスターカラー・平筆・面相筆等、彩色用具一式